

第2号様式（第2条、第4条、第5条関係）

設 計 書

その1（建築物の新築、改築、増築又は移転の場合）

種 別	細 目	申請の 部分	既存の 部分	合計	構 造	階 数	
仮設の 建築物	新 築	敷地面積		(A) m <sup>2</sup>	木 造 鉄 骨 造 コンクリートブロック造 鉄筋コンクリート造 そ の 他 ( )	地上  階  地下  階	
		建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			(B) m <sup>2</sup>
地下に 設ける 建築物	改 築	建ぺい率(B)/(A) (40%以下)		%			
		地下占用面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	屋 根 ( 材 質 等 、 色 彩 )	
		床面積の合計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
その他 の建築 物	増 築	最高の高さ (15m以下)	m	m	m	外 壁 ( 仕 上 げ 、 色 彩 )	
		距 壁 面 線 後 退 距 離	道 路 側 (2m以上)	m	m		隣 接 地 の 現 況
			そ の 他 (1m以上)	m	m		

備考

- 1 「種別」及び「構造」欄は、該当事項に○印を付けること。この場合において、「その他」に○印を付けた場合には、括弧内に事項を具体的に記入すること。
- 2 「床面積の合計」欄は、当該敷地内にある建築物の延床面積の合計を記入すること。
- 3 「壁面線後退距離」欄は、道路境界線又は隣地境界線から外壁面までの最短部分の距離を記入すること。
- 4 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 5 添付図書
  - (1) 付近見取図（縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの）
  - (2) 配置図（縮尺 50 分の 1 から 500 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの）
  - (3) 各階平面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもの）
  - (4) 求積図（敷地面積、建築面積、床面積の求積に必要な寸法及び算式を明示したもの）
  - (5) 各面立面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、2 面以上の最高の高さ、色彩（マンセル値）等を記入し着色したもの）
  - (6) 植栽計画図（植栽の位置を明示し、樹種、本数、高さ及び植栽量の計算を明示したもの）
  - (7) 現況写真（行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの）

その2（工作物（建築物を除く。）の新築、改築、増築又は移転の場合）

種別	最高の高さ		構造の概要 (材質等)
	申請の部分	既存の部分	
仮設の工作物	m	m	
地下に設ける工作物	隣接地の現況		意匠の概要 (色彩、仕上げ等)
その他の工作物 ( )			

備考

- 1 「種別」欄は、該当事項に○印を付け、その他の工作物の場合は、括弧内に広告塔、擁壁、鉄塔、塀など工作物の具体的な名称を記入すること。
- 2 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 3 添付図書
  - (1) 付近見取図（縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの）
  - (2) 配置図（縮尺 50 分の 1 から 500 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの）
  - (3) 立面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、2 面以上の最高の高さ、色彩（マンセル値）等を記入し着色したもの）
  - (4) 現況写真（行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの）

その3（建築物その他工作物の色彩の変更の場合）

種別	色彩変更位 部	色彩変更積 面	仕 様			
			変 更 前		変 更 後	
			材 質 等	色 彩	材 質 等	色 彩
建築物 （ 工 作 物 ）	屋 根	m <sup>2</sup>				
	外 壁	m <sup>2</sup>				
	塀	m <sup>2</sup>				
	広 告 板 広 告 塔	m <sup>2</sup>				
	そ の 他 （ ）	m <sup>2</sup>				
隣 接 地 の 現 況						

備考

- 1 「種別」欄は、該当事項に○印を付けること。この場合において、「工作物」に○印を付けた場合には、括弧内に具体的な名称を記入すること。
- 2 「色彩変更部位」欄は、色彩の変更がある部位に○印を付け、「色彩変更面積」欄に面積を記入すること。この場合において、「その他」に○印を付けた場合には、括弧内に部位を具体的に記入すること。
- 3 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 4 添付図書
  - (1) 付近見取図（縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの）
  - (2) 配置図（縮尺 50 分の 1 から 500 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの）
  - (3) 立面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、2 面以上の最高の高さ、色彩（マンセル値）等を記入し着色したもの）
  - (4) 現況写真（行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの）

その4（宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更の場合）

種 別	細 目	隣 接 地 の 現 況
宅 地 の 造成	行 為 面 積	(A) m <sup>2</sup>
	木竹の保全又は植栽が行われる面積	(B) m <sup>2</sup>
土 地 の 開 墾	緑 地 率 ( B ) / ( A ) ( 1 0 % 以 上 )	% 行為地及びその周辺の土地の区域における木竹の生育に支障を及ぼすおそれの少ない理由
	生 ず る 法 面 の 最 高 の 高 さ	m
その他		

備考

- 1 「種別」欄は、該当事項に○印を付けること。
- 2 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 3 「跡地の処理方法」欄は、裸地、砂利舗装、埋戻し等のように処理の方法を具体的に記入するとともに、法面がある場合には、法面についても芝付け、コンクリートブロック擁壁、放置等のように具体的に記入すること。
- 4 添付図書
  - (1) 付近見取図（縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの）
  - (2) 計画平面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの）
  - (3) 縦横断面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、生ずる法面の最高の高さを明示したもの）
  - (4) 求積図（面積の求積に必要な寸法及び算式を明示したもの）
  - (5) 植栽計画図（植栽の位置を明示し、樹種、本数、高さ及び植栽量の計算を明示したもの）
  - (6) 現況写真（行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの）

その5（水面の埋立て又は干拓の場合）

細 目		隣 接 地 の 現 況
水 面 面 積	m <sup>2</sup>	植 栽 等 に よ る 修 景 措 置
埋 立 て 又 は 干 拓 面 積	m <sup>2</sup>	跡 地 の 処 理 方 法
		行 為 地 及 び そ の 周 辺 の 土 地 の 区 域 に お け る 木 竹 の 生 育 に 支 障 を 及 ぼ す お そ れ の 少 な い 理 由

備考

- 1 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 2 「跡地の処理方法」欄は、裸地、砂利舗装、埋戻し等のように処理の方法を具体的に記入するとともに、法面がある場合には、法面についても芝付け、コンクリートブロック擁壁、放置等のように具体的に記入すること。
- 3 添付図書
  - (1) 付近見取図（縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの）
  - (2) 計画平面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの）
  - (3) 縦横断面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、生ずる法面の最高の高さを明示したもの）
  - (4) 求積図（面積の求積に必要な寸法及び算式を明示したもの）
  - (5) 植栽計画図（植栽の位置を明示し、樹種、本数、高さ及び植栽量の計算を明示したもの）
  - (6) 現況写真（行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの）

その6 (木竹の伐採の場合)

行為の種別		針葉樹林
建築物その他の工作物の新築、改築、増築若しくは移転又は土地の形質の変更に係る行為をするために必要な最少限度の木竹の伐採	木竹の種別	広葉樹林
		針広混合樹林
森林の伐採	伐採区域面積	竹林
		その他( )
伐採の成林が確実に認められる森林の皆伐で、伐採区域の面積が1ha以下のもの	伐採方法	皆伐
		拓伐 % その他( )
森林である土地の区域外における木竹の伐採	隣接地の現況	
	跡地の処理方法	

備考

- 1 「行為の種別」、「木竹の種別」及び「伐採方法」欄は、該当事項に○印を付け、択伐の率は、伐採区域における択伐量（樹冠面積）の割合を記入すること。
- 2 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 3 「跡地の処理方法」欄は、植栽、放置等の別を記入するとともに、<sup>のり</sup>法面がある場合には、<sup>のり</sup>法面についても芝付け、コンクリートブロック擁壁、放置等のように具体的に記入すること。
- 4 添付図書
  - (1) 付近見取図（縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの）
  - (2) 計画平面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの）
  - (3) 求積図（面積の求積に必要な寸法及び算式を明示したもの）
  - (4) 現況写真（行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの）

その7 (土石の類の採取の場合)

細 目		隣 接 地 の 現 況
採 取 区 域 面 積	m <sup>2</sup>	
採 取 量	m <sup>3</sup>	
採 取 方 法	露 天 堀 そ の 他 ( )	
		跡 地 の 処 理 方 法
採 取 土 石 類 の 種 類		
採取によって生ずる <sup>のり</sup> 法面の 最高の高さ	m	

備考

- 1 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 2 「跡地の処理方法」欄には、裸地、砂利舗装、埋戻し等のように処理の方法を具体的に記入するとともに、法面がある場合には、法面<sup>のり</sup>についても芝付け、コンクリートブロック擁壁、放置等のように具体的に記入すること。
- 3 添付図書
  - (1) 付近見取図 (縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの)
  - (2) 計画平面図 (縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの)
  - (3) 縦横断面図 (縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、生ずる<sup>のり</sup>法面の最高の高さを明示したもの)
  - (4) 求積図 (面積の求積に必要な寸法及び算式を明示したもの)
  - (5) 植栽計画図 (植栽の位置を明示し、樹種、本数、高さ及び植栽量の計算を明示したもの)
  - (6) 現況写真 (行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの)

その8（屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積）

種 別	堆 積 面 積	m <sup>2</sup>
土 石	堆 積 物 の 高 さ	m
廃棄物 ( )	隣 接 地 の 現 況	
再生資源 ( )	植 栽 等 に よ る 修 景 措 置	

備考

- 1 「種別」欄は、該当事項に○印を付けること。この場合において、「廃棄物」又は「再生資源」に○印を付けた場合には、括弧内に具体的な品目を記入すること。
- 2 「堆積面積」欄は、堆積物の水平投影面積の合計を記入すること。
- 3 「堆積物の高さ」欄は、堆積物の最高の高さを記入すること。
- 4 「隣接地の現況」欄は、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- 5 「植栽等による修景措置」欄は、具体的な修景方法を記入すること。
- 6 添付図書
  - (1) 付近見取図（縮尺 2,500 分の 1 の都市計画基本図に当該敷地の位置を明示したもの）
  - (2) 配置図（縮尺 50 分の 1 から 500 分の 1 までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況を明示したもの）
  - (3) 求積図（敷地面積、建築面積及び床面積の求積に必要な寸法及び算式を明示したもの）
  - (4) 立面図（縮尺 50 分の 1 から 300 分の 1 までの範囲内のもので、2 面以上の最高の高さ、色彩（マンセル値）等を記入し着色したもの）
  - (5) 植栽計画図（植栽の位置を明示し、樹種、本数、高さ及び植栽量の計算を明示したもの）
  - (6) 現況写真（行為地及びその周辺の状況がよく分かるもので、2 方向以上から撮影したもの）